

令和元年度 松本市防犯推進会議 議事録

日 時 令和元年7月5日（金） 14：00～15：40

会 場 松本市役所 第2応接室

出席委員 菊地聡委員（信州大学人文学部教授）
村上令兒委員（松本防犯協会連合会女性部長）
倉科邦彦委員（松本警察署長）【代理出席：刑事第二課 係長 柳澤幸宏、生活安全第一課長 大久保文雄】
北原一男委員（第一地区環境浄化対策委員会会長）
瀧澤和子委員（松本市女性団体連絡協議会会長）
渡辺聡委員（社会福祉法人松本市社会福祉協議会会長）【代理出席：地域福祉課長 野村睦広】
渡辺はる美委員（松本市青少年補導委員協議会会長）
野村千恵子委員（松本市健康づくり推進員連合会副会長）
近藤博志委員（松本商工会議所管理部長）
吉江章二委員（松本ハイランド農業協同組合総務企画部次長兼管理課長）
熊谷吉孝委員（松本市農業協同組合代表理事組合長）

欠席委員 上條博文委員（松本市消防団長）
洞澤勝委員（松本市町会連合会会長）
古屋勇委員（松本市PTA連合会副会長）
青木厚委員（松本市高齢者クラブ連合会会長）

会議事項及び発言要旨

(1) 部長あいさつ（危機管理部長 森本千嘉）

日頃から、市の防犯施策の推進に対しましては、ご理解、ご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼申しあげます。本市における犯罪情勢につきましては、刑法犯認知件数は減少傾向にあると伺っております。しかしながら、本年1月には自衛隊駐屯地周辺で出勤途中の自衛官が刃物のようなもので刺される事件が発生するなど、市民生活に大きな不安を与える事案は後を絶ちません。また、特殊詐欺については、松本市としましても、市内5団体と連携協定を締結し、被害防止の取組みを継続的に行っております。昨年1年間の松本市内での認知件数及び被害金額はともに減少したものの、本年1月から5月までの被害額は昨年1年間をすでに上回っています。また、先月末から、松本市内に集中的に予兆電話がかかってきており、実際に被害も発生しています。手口がますます巧妙化していることから、さらなる対策強化が求められています。

一方、暴力団の現状は、平成27年の山口組の分裂以降、一時緊張し、松本市内の組事務所にも警察のパトカーが24時間で張り付く体制が続いていましたが、現在は解消されています。つい先日も、

上田市で暴力団の会合が開かれるとの情報が流れました。本市においても、いつなごき身近で事案が発生してもおかしくない情勢にあることには変わりはありません。

本日の会議では、近年の特徴的な防犯情勢を背景に、今後の防犯の推進に関する事項についてご審議をいただきます。市民と市が一体となって、安全・安心なまちづくりを推進するための重要な会議となりますので、慎重審議をいただくことをお願い申し上げます。

(2) 役員選出

互選により、会長に信州大学の菊池委員、副会長に松本防犯協会連合会女性部長の村上委員を選出。

(3) 議事（報告事項）

ア 犯罪発生状況（説明：松本警察署生活安全第一課 課長 大久保文雄）

- ・平成30年の刑法犯認知件数は、1693件と平成29年と比べると微増であるが、平成23年から比較すると、刑法犯認知件数は減少傾向にある。
- ・少年の検挙件数は、減少傾向にあるが、県内での検挙数は松本警察署管内が一番多い。
- ・自転車盗が減少傾向にある。無施錠の自転車に警察がダイヤル式の鍵を施錠して無施錠の自転車を減らす取組みをした。
- ・特殊詐欺の発生状況については、本年6月に14件（4,200万円）の被害があった。

イ 暴力団の動向（説明：松本警察署刑事第二課 係長 柳澤幸宏）

- ・暴力団の人数は、全国30,500人、県内540人でともに減少傾向にある。
- ・平成27年の6代目山口組の分裂から3年間で、抗争事件が全国で90件発生しており、県内では10件発生している。長野県は都道府県別で2番目に多い。

ウ 平成30年度の取組み（松本市）

- ・特殊詐欺対策（街頭啓発、関係団体との合同啓発、特殊詐欺被害防止対策機器貸出次長）、地区町会連合会防犯活動費交付金、青色防犯パトロール、第一地区防犯カメラ整備事業

(4) 協議事項（令和元年度の松本市の取組み）

- ・特殊詐欺対策（街頭啓発、関係団体との合同啓発、特殊詐欺被害防止対策機器貸出次長）、地区町会連合会防犯活動費交付金、青色防犯パトロール、第一地区防犯カメラ整備事業、特殊詐欺被害防止メッセージを記載したステッカーの配付

(5) 質 問（松本市に対して）

質問1 特殊詐欺被害防止対策機器の貸出し期間は？

回答1 無期限です。

質問2 特殊詐欺対策機器の効果は？

回答2 今後、効果を検証します。

質問3 地区町会連合会防犯活動費交付金の使われ方について知りたい。

回答3 防犯活動時に使用する腕章、たすき、のぼり旗、チラシなど。また、歳末警戒巡視協力金等に利用されます。

(6) 意見

【野村千恵子委員】青色防犯パトロールはとても効果的だと思うので、登録車両を増やして欲しい。

【野村睦広委員】特殊詐欺防止ステッカーを松本市社会福祉協議会でも配付したい。

【菊池聡委員】 特殊詐欺防止の活動として、街頭啓発など地道な取組みも大事だが、マンネリ化するのも問題である。地道な取組みを続けながら、目先を変えた意外な取組みや企画をやっていければいい。

【村上令兒委員】松本防犯協会連合会では、特殊詐欺被害防止啓発の寸劇を行っているので、是非ご利用ください。